



**自然エネルギーを活用した木のぬくもりあふれる施設**

わくわく園は、町有林のカラマツの集成材を梁や柱に、姉妹町・高知県津野町産ヒノキを床材に使用したほか、地中熱ヒートポンプを活用した床冷暖房など、自然エネルギーを活用した木のぬくもりあふれる施設となっています。また、園内には調理の様子が見える給食室があり、地元食材を生かした完全給食を提供し、子どもたちの健康で元気な体づくりに取り組みます。



**新たに子育て応援保育を実施**

里帰り出産で帰省した子どもや保護者の急な都合で一時的に預かる保育、町外から町内の事業所などに通勤する家庭の子どもを預かる保育などの「子育て応援保育」を実施し、子育て支援の充実を図ります。

**平成28年度は外構工事を実施**

旧保育園・幼稚園の取り壊し工事を5月から実施します。その後、旧保育園側に駐車場、旧幼稚園側にグラウンドと遊具スペースなどを設置する外構工事を実施します。外構工事は11月に完了する予定です。



〔こども園外観〕



幼稚園と保育園の連携型施設、訓子府町認定こども園『わくわく園』の園舎が4月1日に開園しました。施設は町内のカラマツ材や姉妹町・津野町のヒノキ材などを使用しているほか、自然エネルギーも活用。0歳から5歳児が、一貫した保育・教育を受けることができる施設となっています。

**盛大に開園を祝う**

開園日の翌日、4月2日に広々とした遊戯室で開園式が行われました。テープカットでは、わくわく園の命名者代表として、久積しなさん(訓小1年)らが、出席者約260人の前でテープにはさみを入れました。

また、園児たちによる遊戯や本町出身の松岡義和さんが作詞、訓子府中学校長の小野朋之さんが作曲した園歌「風の子雪の子 大地の子」の披露が行われるなど、華やかな開園式となりました。

フィナーレは、園児と保護者が「はだしの庭」に集い、子どもたちの夢や願い、思いなどを付けた色とりどりのバルーンを青空へ飛ばし、開園を祝いました。